

環境技術実証モデル事業検討会
酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合（第4回）
議事要旨

1. 日時：平成15年10月10日（金） 10：00～12：00
2. 場所：経団連会館901号室
3. 議題
 - （1）第3回会合議事概要について
 - （2）実証試験要領について
 - （3）実証機関の募集について
 - （4）実証機関への応募団体からのヒアリング
 - （5）実証機関の選定について
 - （6）今後の検討スケジュールについて
 - （7）その他
4. 出席検討員 坂本和彦（座長）、小淵存、加藤征太郎、山川洋平
欠席検討員 岩崎好陽
5. 配付資料
 - 資料1 酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合（第3回）議事概要
 - 資料2 酸化エチレン処理技術実証試験要領
 - 資料3 平成15年度環境技術実証モデル事業の公募について
 - 資料4 平成15年度環境技術実証モデル事業 酸化エチレン処理技術分野
実証機関の応募の受付開始について
 - 資料5 （審査結果記入用紙 非公開資料）
 - 資料6 （各団体からの申請書類 非公開資料）
 - 資料7 今後の検討スケジュールについて（予定）

参考資料

- 1 環境技術実証モデル事業の概要
- 2 環境技術実証モデル事業実施要領
- 3 モデル事業実施体制
- 4 環境技術実証モデル事業の流れ
- 5 平成15年度対象技術分野と分野別ワーキンググループの設置について
- 6 環境技術実証モデル事業検討会設置要綱
- 7 同 酸化エチレン処理技術ワーキンググループ会合設置要綱
- 8 実証試験要領のイメージ

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 第3回会合議事概要について

- ・資料1を配布し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。

(2) 実証試験要領について

- ・資料2を配付し、事務局から、前回のワーキンググループ会合での指摘等を踏まえ、修正の上、9月11日に公開したことについて説明。

(3) 実証機関の募集・選定について

- ・事務局から、資料4、5、6に基づき説明。
- ・応募団体からのヒアリング審査の結果については、資料5の様式に記入することを確認した。

(4) 実証機関への応募団体からのヒアリング

- ・実証機関への応募団体から、資料6に基づき、実証試験の実施体制や実証試験を行う設備等の事項についてヒアリングを行い、質疑を行った。

(5) 実証機関の選定について

- ・実証機関への応募団体からのヒアリングを踏まえ、実証機関の選定についての議論を行った。
- ・実証機関の選定結果については、来週(10月第3週)はじめに、応募団体に通知し、結果を公表した後、環境省と選定された団体との間で委託手続きを行う旨、事務局から説明を行い、了承された。

(6) 今後の検討スケジュールについて

- ・事務局から、資料7に基づき説明。
- ・次回のワーキンググループ会合は、実証試験終了後、来年3月を目途に実証試験結果報告書についての検討を行う予定である旨、事務局から説明を行い、了承された。

(文責：環境省環境管理局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)